

## 5月19日(火)は ふるさと食材の日「アスパラガスのゲリル」

クイズ!

※アスパラはアスパラガスを省略した俗称です。



J A ふうらの方に、アスパラ部会の仁田原邦彦さん(富良野市)をご紹介します。

露地のアスパラの芽を探してみよう!!

4月末のビニールハウスのアスパラ畑と露地(\*)のアスパラ畑の違いがわかりますか。(下の写真)

下の写真にアスパラの芽があります。土から出てきた

ばかりのアスパラは、紫色をしているよ。いくつか見つけられるかな?



こさ：ㄥㄥㄥ

アスパラが元気よく育ちやすい温度は、夜の気温が5℃以上、日中の温度が20℃ぐらいです。そのため、外よりもビニールハウスの中の気温が温かいためアスパラが早く育ちます。

★仁田原さんから  
みなさんへメッセージ★  
みなさんが住んでいる土地で育ったアスパラをいっぱい食べてください。

アスパラは、収穫が終わった後、2 m ほどの大きさまで成長し、光合成をして栄養をたっぷりと蓄えます。秋になり、気温が低くなると蓄えた栄養を土の下の根に送り、その蓄えた栄養が、春に芽を出す力となり、甘みとなります。



(\*) 露地：屋根がなく雨ざらしの土地のことをいいます。

